

2001年9月7日

# 県民の政治意識 第13回モニター調査 報告書

(2001年8月30日～31日調査)

調査の設計	1
結果の概要	3
単純集計	6
調査票	11



社団法人 長野県世論調査協会

Tel 026-233-3616 Fax 026-233-3610  
<http://www.nagano-yoron.or.jp>

# 調査の設計

## 調査の目的

1995 年 7 月の参院選直後に、県民の政治意識の動向と変遷を追跡するねらいで、この協会モニター調査がスタートして 6 周年を迎える。

今年 2 月の前回調査から今回までの半年間は、指導力に当初から疑問符が終始つきまとった森喜朗首相は、内閣支持率がついに 1 割台を割りこみ退陣。小泉純一郎氏が 4 月の自民党総裁選でのし上がり、高支持率で政権を踏襲するといった政局の“乱高下”が展開された。7 月の参院選では自民党が勝利し、自公保連立政権の持続をも確かなものにした。

しかしながら、小泉首相は靖国神社参拝で中国、韓国の反発や国内の根強い反対を押し切る一方で、再三公言した 8 月 15 日参拝の日程“前倒し”といった決断の軸がブレたこと、さらに振幅の激しい言動で外交面の遅滞が指摘される田中真紀子外相との信頼関係など、その指導性に揺らぎもみられ始めた。

とりわけ「構造改革なくして景気回復なし」と世論を引きつけてきた小泉政権は、足元に“抵抗勢力”を抱えながら、いよいよ具体的に政策の実効が問われる正念場に至っている。

失業率が厳しい水準に達し、景気・雇用対策が急がれるなかで、県民の政治意識にはどのような変化がみられるのか、協会モニターを対象に探る。

## 調査の設計

調査方法 当協会の登録モニターに事前に調査票を郵送し、電話で回答を聞く方式。

### 【モニター～継続的な調査対象者】

1995 年 6 月の参院選直前、県下の満 20 歳以上の 1000 人を対象に、政治意識調査を実施。その際、追跡調査に協力できるという人たち 678 人を対象に、選挙直後の同年 7 月に「参院選の投票行動」調査を行った。

これを「第 1 回モニター調査」と位置付け、それ以降は男女別、年代別、選挙区別などの比率が“県下の有権者の縮図”となるようにサンプル対象者を選定して、96 年 2 月に第 2 回調査を行い、さらに半年間隔で年 2 回ずつ、定期的に続行している。この間、モニターは若干補正し、現在の登録数は 500 人。

調査時期 2001 年 8 月 30 日～31 日

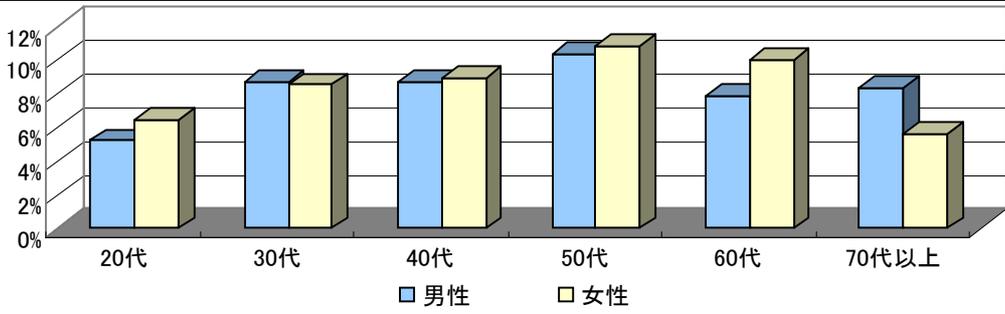
有効回収数 479 人 (95.8%)

<注> 報告書のパーセント数字は小数点第 2 位を四捨五入。合計が 100 にならない場合がある。

サンプルの内訳（回答数 479 件）

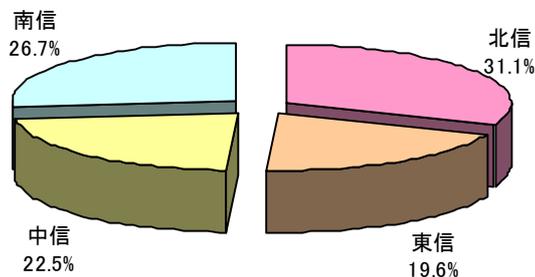
【性別と年代】

	合計	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
男性	237 49.5%	25 5.2%	42 8.8%	42 8.8%	50 10.4%	38 7.9%	40 8.4%
女性	242 50.5%	31 6.5%	41 8.6%	43 9.0%	52 10.9%	48 10.0%	27 5.6%



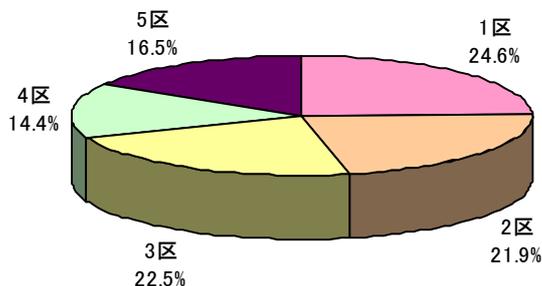
【地域別】

北信	149	31.1%
東信	94	19.6%
中信	108	22.5%
南信	128	26.7%



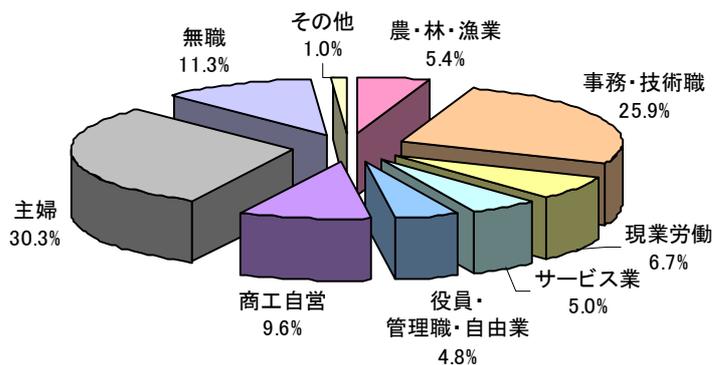
【選挙区別】

1区	118	24.6%
2区	105	21.9%
3区	108	22.5%
4区	69	14.4%
5区	79	16.5%



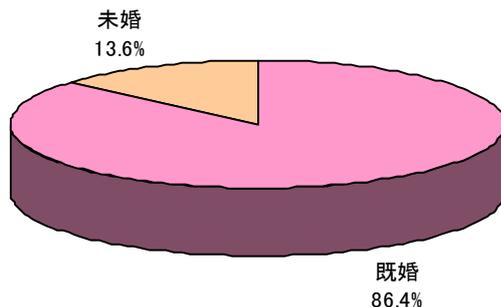
【職業別】

農・林・漁業	26	5.4%
事務・技術職	124	25.9%
現業労働	32	6.7%
サービス業	24	5.0%
役員・管理職・自由業	23	4.8%
商工自営	46	9.6%
主婦	145	30.3%
無職	54	11.3%
その他	5	1.0%



【結婚の有無】

既婚	414	86.4%
未婚	65	13.6%



## 結果の概要

今回の調査は、小泉内閣が空前の高支持率でスタートしてから4カ月、参院選で自公保連立政権が安定多数を確保した勝利から1カ月のタイミングで行った。

その結果は、自民党が支持率を大幅に上乘せして、トップの座を民主党から3年ぶりに奪還を果たした。しかし、改革を唱えて政局を主導してきた小泉内閣自体の支持率は6割を下回り、一時の熱気は沈静化へと向かい始めた。

その背景には、政治の動向をかなり左右する無党派層が、意外に小泉内閣に距離を置き、必ずしも独自のスタンスを変えようとはしていない様相が垣間みられる。

むしろ“小泉旋風”の勢いは、ライバル民主党をはじめとする他の政党の評価を揺さぶりつつあるようだ。加えて、景気・雇用対策の優先を求める世論は根強く、こんごの小泉内閣の構造改革の取り組みいかんでは、県民の政治意識が大きく変貌していきそうな予兆を今回調査にみることができる。

### 小泉内閣の評価

小泉内閣を「支持する」は57.0%、「支持しない」は13.6%。「なんともいえない」と評価を留保するのが約3割を占め、女性で高めになっている。

政党支持層でみると、自民党支持層は9割近くが「支持」に集中。しかし、野党では民主党で「支持」と「なんともいえない」が4割台でほぼ同列に並び、小泉人気にあおられて、腰が定まらない様相をみせた。加えて共産党、社民党は「不支持」が過半数を超えることができず、従来の内閣支持パターンはかなり様変わりした。無党派層の支持率は43%と低めで、冷やかな視線が感じられる。

支持理由は「首相の政治姿勢が好ましいから」が突出。「政策に期待」が続き、三番手は「小泉さんが首相だから」。宰相の資質と指導性を問われた前任の森首相に比べて、順位はまるっきり逆転した。

不支持の理由では「政策に期待できない」が他を引き離し、構造改革の先行き不安が投影された。次いで「自公保の連立」と「自民党中心の内閣」が上位に置かれ、連立の組み合わせに対する厳しさが前面に押し出された。

### 参院選結果の受けとめ

「改革」を訴えた小泉首相を軸に展開された参院選の結果について、全体的に「満足」が6割近くにのぼった。しかし「どちらかといえば満足」が全体の約半数を占め、本当の評価はこんごの政策展開の推移をみてから、といったスタンスが濃厚だ。

「不満足」は全体で4割近く。無党派層では6割に迫っているのが目をひく。

今回から比例区に導入された非拘束名簿式の投票には「よくない」が過半数を占め、肯定的な評価は4割台。結果的に、長野県区で史上3番目の低率に終わった投票率には「もっと上がってよかった」が6割半ばにのぼる。

## 政党の評価とその理由

自民党が31.7%と前回よりも2倍以上増えたのに対して、民主党は2割台に届かず、首位が入れ替わった。これにより前回、県下全選挙区でトップを独占した民主党は、有力地盤の3区を除き、自民党の後塵を拝することになった。3位には共産党が食い込み、僅差で公明党、社民党、自由党、そして保守党が続く。

支持する政党の評価する点は、これまで同様「政策の現実性」が順当にトップに置かれたが「党首の魅力」が急台頭して並び立った。これまでは土井社民党、小沢自由党に特徴的な評価だったが、今回は“小泉異変”をうけて自民党支持層では最も高率となった。「主義主張の一貫性」は引き続き上位を保った。

## 無党派層とその評価

支持政党なし層も自民党急伸のあおりをまともにうけた。今回まで4年余にわたる通算10回の調査で、初めて3割台を割り込む急落ぶり。常に各政党支持の上に推移してきた事実上トップの座も外れた。20～40代は従来から無党派層が多めだが、今回もやはり3割半ば～4割と、自民党支持率を上回り、中高年齢層の動向とは一線を画す姿勢がみられる。また、無党派層は内閣不支持層の4割を占めている。

無党派層に対する評価は、政治・政党に対する「不満・不信の現われ」が引き続き断然トップ。次いで「無関心・無責任」がランクされた。全般的に、無党派層に対する肯定的・否定的な見方がほぼ均等に位置づけられており、国・地方の選挙を通じて無党派層の動向が注目されるわりには、その評価にめだった変化はみられない。

## 政権の枠組みと再編成

小泉首相の“独走”ぶりの足元では、次へのステップとして「政権連立の枠組み」と「政党の再編成」を模索する動きが見え隠れするが、望ましい政権としては「今の自公保連立」（前回4位）が台頭し、これまで終始トップの「望ましい政権はない」に伯仲する結果が出た。「自民党・民主党の連立」も伸びたものの「自民党を除く民主党中心の政権」は大きく後退し、参院選の与野党攻防の明暗が投影した。

今後の政治・政党の再編成には「期待する」が過半数を占めたが、めだった変動はみられない。

## 構造改革の取り組み

参院選の攻防を経て、予算編成をにらんで始動した構造改革路線で、優先してほしいと望むのは「不良債権」を筆頭に、僅差で「高齢者医療」「特殊法人」が上位におかれた。しかし、行財政の根幹にからむ「道路特定財源」や「郵政」「地方交付税」は下位にとどまる。

構造改革に伴う“痛み”には、基本的に「受け入れてよい」が約3割、「受け入れられない」が1割半ば。しかし「セーフティーネットを見きわめたい」というスタンスが半数を占めた。構造改革と景気・雇用対策の優先度の問いには、改革4割 - 景気6割という結果だった。

## 靖国神社参拝

「8.15参拝」は小泉首相の再三にわたる公言により、中国、韓国と国内世論を巻き込んだ是非の論議に加えて、宰相の決断の重みも問われたが、参拝自体の受けとめは「賛成」が6割に対して「反対」は3割半ば。“13日への前倒し”には半数に近い理解を示した。

同時に、外国の反発・批判について「理解できる」が6割にのぼり、今後の慰霊のあり方として「無宗教の国立墓苑または慰霊碑の新設」に約7割もが賛意を寄せ、靖国問題をめぐる認識と方策のバランスの妙がみられる。

## 重要政治課題と日本の不安

当面の政治の重要課題は、やはり「景気・雇用」がトップ。この3年間、2位以下を大きく引き離れたままで、2位の「行財政」も変わらない。「構造改革が先か、景気回復が先か」をめぐる世論の選択の切迫ぶりが示されている。3位は「教育」が「福祉・医療」と入れ替わった。

これを映して、将来の日本の不安も「景気の方行」が筆頭に掲げられ「雇用」も五番手に急浮上。経済が中期、長期的な観点でも、容易には払拭されない日本の重荷であることが示された。「犯罪の増加」がぴたり2位に張りつく。「政治」は小泉政権による“活況”からか10位以降に外れたが「ふくれる財政赤字」はいぜん上位に陣取り、政治のかじ取りを注視するといった構図だ。

## 単純集計

「どちらかといえば満足」半数 「不満足」合計で4割

問1 7月末に行われた参院選の結果についてどう思いますか		
大いに満足	44	9.2%
どちらかといえば満足	238	49.7%
どちらかといえば不満足	157	32.8%
全く不満足	37	7.7%
なんともいえない	3	0.6%

モニターは投票率高め 県区で自・民伯仲

問2-A 長野県区ではどの政党・候補の所属する政党に投票しましたか		
自民党(吉田博美)	159	33.2%
民主党(羽田雄一郎・小山峰男)	167	34.9%
共産党(山口典久)	48	10.0%
社民党(佐藤節子)	40	8.4%
自由連合(渡辺信幸)	6	1.3%
その他	2	0.4%
投票に行かなかった	54	11.3%
答えたくない・わからない	3	0.6%
問2-B 比例代表ではどの政党に投票しましたか		
自民党	151	31.5%
民主党	123	25.7%
共産党	43	9.0%
社民党	35	7.3%
公明党	31	6.5%
自由党	24	5.0%
保守党	5	1.0%
その他の政党	8	1.7%
投票に行かなかった	54	11.3%
答えたくない・わからない	5	1.0%

新方式に「よくない」半数超す

問3-A 今回の参院選の比例代表の非拘束名簿式投票についてどうおもいますか		
よくない方式だ	251	52.4%
よい方式だ	206	43.0%
なんともいえない・わからない	22	4.6%
問3-B 今回の参院選の投票率について、どう思いますか		
もっと上がってよかった	317	66.2%
まずまずの水準だった	147	30.7%
もっと下がってよかった	7	1.5%
なんともいえない	8	1.7%

支持 57% 不支持 14% 熱気は沈静化の方向

問4 小泉内閣を支持しますか		
支持する	273	57.0%
支持しない	65	13.6%
なんともいえない	141	29.4%

前回(森内閣)	
	7.6%
	92.0%
	0.4%

### 支持派「首相の政治姿勢」断然トップ

問5 小泉内閣を支持する理由は何ですか(2つ以内)		
首相の政治姿勢が好ましいから	189	69.2%
政策に期待できるから	134	49.1%
小泉純一郎さんの首相だから	92	33.7%
ほかに適当な人がいないから	48	17.6%
自民党・公明党・保守党の連立内閣だから	35	12.8%
自民党中心の内閣だから	26	9.5%
その他	2	0.7%
なんともいえない	0	0.0%
問6 小泉内閣を支持しない理由は何ですか(2つ以内)		
政策に期待できないから	39	60.0%
自民党・公明党・保守党の連立内閣だから	31	47.7%
自民党中心の内閣だから	25	38.5%
首相の政治姿勢が好ましくないから	19	29.2%
小泉純一郎さんが首相だから	4	6.2%
ほかに適当な人がいるから	1	1.5%
その他	2	3.1%
なんともいえない	1	1.5%

### 「不良債権」「高齢者医療」「特殊法人」上位に

問7-A 構造改革で優先してほしいのはどんなことですか(2つ以内)		
不良債権処理	209	43.6%
高齢者医療・福祉	196	40.9%
特殊法人	187	39.0%
公共事業	115	24.0%
公務員制度	74	15.4%
道路特定財源	58	12.1%
郵政事業	50	10.4%
地方交付税	46	9.6%
特にない・わからない	2	0.4%
不明	1	0.2%
問7-B 「構造改革に伴う痛み」をどう受け止めますか		
セイフティーネットを見きわめたい	259	54.1%
基本的に受け入れてもよい	139	29.0%
基本的に受け入れられない	73	15.2%
なんともいえない・わからない	7	1.5%
不明	1	0.2%
問7-C 財政構造改革と景気・雇用対策のどちらを優先すべきですか		
景気や雇用の対策を優先すべきだ	284	59.3%
構造改革を優先すべきだ	189	39.5%
なんともいえない	5	1.0%
不明	1	0.2%

## 参拝自体の賛成 6割 反対は3割半ば

問8-A 小泉首相の靖国神社の前倒し(13日)参拝についてどう思いますか		
参拝、前倒しともに賛成	197	41.1%
参拝、前倒しともに反対	139	29.0%
参拝は賛成だが、前倒しは反対	99	20.7%
参拝は反対だが、前倒しは賛成	31	6.5%
なんともいえない・わからない	12	2.5%
不明	1	0.2%
問8-B 中国、韓国の反発や批判についてどう思いますか		
理解できる	287	59.9%
理解できない	185	38.6%
なんともいえない・わからない	6	1.3%
不明	1	0.2%
問8-C 無宗教の国立墓苑または慰霊碑の新設について		
賛成	333	69.5%
反対	134	28.0%
なんともいえない・わからない	11	2.3%
不明	1	0.2%

## 「今の自公保連立」が急伸 「民主中心の連立」後退

問9 本来どんな政権が望ましいと考えていますか			前回
望ましい政権はない	103	21.5%	34.2%
今の自民党・公明党・保守党の連立	101	21.1%	9.5%
自民党・民主党の連立	94	19.6%	11.5%
自民党を除く民主党中心の連立	77	16.1%	27.8%
自民党単独	48	10.0%	8.7%
その他	39	8.1%	8.7%
なんともいえない・わからない	16	3.3%	2.7%
不明	1	0.2%	-

## 自民トップ奪還の32% 民主19% 支持なし層急減

問10 どの政党を支持しますか			前回
自民党	152	31.7%	13.0%
民主党	93	19.4%	25.2%
共産党	29	6.1%	5.4%
公明党	25	5.2%	5.6%
社民党	22	4.6%	4.9%
自由党	21	4.4%	4.1%
保守党	2	0.4%	0.2%
その他の政党	1	0.2%	0.8%
支持する政党はない	130	27.1%	39.2%
答えたくない・わからない	3	0.6%	1.6%
不明	1	0.2%	-

「党首の魅力」トップに急浮上 「政策の現実性」も高水準

問11 支持する政党のどんな点を評価し、期待していますか(2つ以内)			前回
政策の現実性	102	29.6%	33.4%
党首の魅力	102	29.6%	13.6%
主義主張の一貫性	92	26.7%	27.2%
安定感・頼りがい	83	24.1%	16.4%
長期的な視点	60	17.4%	24.4%
革新的な姿勢	58	16.8%	12.2%
清潔なイメージ	52	15.1%	25.1%
中道的な姿勢	31	9.0%	10.8%
開かれた党運営	29	8.4%	12.2%
日本国憲法擁護の姿勢	26	7.5%	9.8%
保守的な姿勢	15	4.3%	4.2%
その他	6	1.7%	1.7%
なんともいえない・わからない	2	0.6%	-

「政治・政党への不満・不信」断然トップ変わらず

問12 「支持なし(無党派)層」について、どのようにお考えですか(2つ以内)			前回
政治・政党への不満、不信の現われ	276	57.6%	60.2%
政治に対して無関心、無責任	150	31.3%	29.5%
政党がもっとがんばれば減っていく	127	26.5%	26.8%
政治家個人が中心の選挙が背景にある	74	15.4%	30.1%
自由に1票を行使している	68	14.2%	12.8%
政治を不安定にさせている	67	14.0%	12.4%
棄権が多く投票率を下げる一因	64	13.4%	9.5%
政治に関心の高い人が多い	26	5.4%	4.9%
選挙を面白くさせる波乱要素	17	3.5%	2.1%
その他	6	1.3%	1.2%
なんともいえない・わからない	21	4.4%	2.3%
不明	1	0.2%	0.2%

自民支持層が“期待派”多数に 男性さらに加速

問13 「政治・政党の再編成」が今後行われることを期待しますか			前回
期待する	272	56.8%	55.5%
期待しない	204	42.6%	43.5%
なんともいえない・わからない	1	0.2%	1.0%
不明	2	0.4%	-

## 「景気・雇用」いぜん半数を占める高水準

問14 国の政治の課題として、次に挙げた項目の中ではどれが最も重要だと思いますか			前回
景気・雇用	252	52.6%	50.1%
行財政	96	20.0%	24.5%
教育	69	14.4%	7.0%
福祉・医療	51	10.6%	15.7%
安全保障	10	2.1%	1.9%
その他	0	0.0%	0.8%
特になし	0	0.0%	-
不明	1	0.2%	-

(注)前回までは「福祉・医療」は「安定的な年金・介護」として聞いた

## 「景気」トップ浮上「雇用」も上位に 「政治」は急降下

問15 日本の将来を考えるとときに心配したり、不安に思うことがありますか(5つ以内)			前回
景気の方	254	53.0%	44.7%
犯罪の増加	240	50.1%	39.2%
ふくれる財政赤字	212	44.3%	45.4%
社会保障・福祉の水準低下	187	39.0%	36.1%
雇用の不安	176	36.7%	23.5%
高齢化と少子化	167	34.9%	37.3%
地球環境・自然破壊	161	33.6%	32.6%
青少年の教育・育成	159	33.2%	35.3%
経済の国際競争力の低下	157	32.8%	26.6%
官僚依存型の社会の体質	157	32.8%	32.2%
モラルの低下	139	29.0%	35.3%
政治の不安定・不信	133	27.8%	56.5%
進まない行政改革	114	23.8%	20.4%
国の安全保障	61	12.7%	13.4%
エネルギー不安	35	7.3%	11.3%
女性の地位向上の遅れ	14	2.9%	3.9%

## 質問票

問1 あなたは、7月末行われた参院選の結果についてどう思いますか。

- 大いに満足
- どちらかといえば満足
- どちらかといえば不満足
- 全く不満足

問2 あなたは、参院選でどの政党または候補の所属する政党に投票しましたか。

A 長野県区

- |                 |            |
|-----------------|------------|
| 自民党（吉田博美）       | 自由連合（渡辺信幸） |
| 民主党（羽田雄一郎 小山峰男） | その他（ ）     |
| 共産党（山口典久）       | 投票に行かなかった  |
| 社民党（佐藤節子）       |            |

B 比例代表

- |     |           |           |
|-----|-----------|-----------|
| 自民党 | 社民党       | 投票に行かなかった |
| 民主党 | 自由党       |           |
| 公明党 | 保守党       |           |
| 共産党 | その他の政党（ ） |           |

問3 あなたは、今回の参院選の行われ方については、どう思っていますか。

A 比例代表の非拘束名簿式投票

- |       |         |
|-------|---------|
| よい方式だ | よくない方式だ |
|-------|---------|

B 投票率

- |             |             |
|-------------|-------------|
| もっと上がってよかった | もっと下がってよかった |
| まずまずの水準だった  |             |

問4 あなたは、小泉内閣を支持しますか。

- |          |       |
|----------|-------|
| 支持する     | 問5、7へ |
| 支持しない    | 問6、7へ |
| なんともいえない | 問7へ   |

問5 <問4で とお答えの方に>

小泉内閣を支持する理由は何ですか。2つ以内で挙げてください。

- |               |                |                          |
|---------------|----------------|--------------------------|
| 自民党中心の内閣だから   | 首相の政治姿勢が好ましいから | <input type="checkbox"/> |
| 自民党・公明党・保守党の  | 政策に期待できるから     | <input type="checkbox"/> |
| 連立内閣だから       | ほかに適当な人がいないから  | <input type="checkbox"/> |
| 小泉純一郎さんが首相だから | その他( )         | <input type="checkbox"/> |

問6 <問4で とお答えの方に>

小泉内閣を支持しない理由は何ですか。2つ以内で挙げてください。

- |               |                  |                          |
|---------------|------------------|--------------------------|
| 自民党中心の内閣だから   | 首相の政治姿勢が好ましくないから | <input type="checkbox"/> |
| 自民党・公明党・保守党の  | 政策に期待できないから      | <input type="checkbox"/> |
| 連立内閣だから       | ほかに適当な人がいるから     | <input type="checkbox"/> |
| 小泉純一郎さんが首相だから | その他( )           | <input type="checkbox"/> |

問7 あなたは、小泉内閣が掲げる構造改革について、どう思いますか。

A 構造改革で優先してほしいのはどんなことですか。2つ以内で挙げてください。

- |        |          |                          |
|--------|----------|--------------------------|
| 公務員制度  | 郵政事業     | <input type="checkbox"/> |
| 地方交付税  | 高齢者医療・福祉 | <input type="checkbox"/> |
| 道路特定財源 | 不良債権処理   | <input type="checkbox"/> |
| 特殊法人   | 公共事業     | <input type="checkbox"/> |

B 「構造改革に伴う痛み」をどう受けとめますか。

- |              |               |                          |
|--------------|---------------|--------------------------|
| 基本的に受け入れてもよい | 痛みを和らげるセイフティー | <input type="checkbox"/> |
| 基本的に受け入れられない | ネットを見きわめたい    | <input type="checkbox"/> |

C 財政構造改革と景気・雇用対策のどちらを優先すべきですか。

- |                 |                          |
|-----------------|--------------------------|
| 構造改革を優先すべきだ     | <input type="checkbox"/> |
| 景気や雇用の対策を優先すべきだ | <input type="checkbox"/> |

問8 あなたは、戦争犠牲者の慰霊のあり方について、どう思いますか。

A 小泉首相の靖国神社の前倒し(13日)参拝

- |                |                          |
|----------------|--------------------------|
| 参拝、前倒しともに賛成    | <input type="checkbox"/> |
| 参拝は賛成だが、前倒しは反対 |                          |
| 参拝は反対だが、前倒しは賛成 |                          |
| 参拝、前倒しともに反対    |                          |

B 中国、韓国の反発や批判

- |       |        |                          |
|-------|--------|--------------------------|
| 理解できる | 理解できない | <input type="checkbox"/> |
|-------|--------|--------------------------|

C 無宗教の国立墓苑または慰霊碑の新設

- |    |    |                          |
|----|----|--------------------------|
| 賛成 | 反対 | <input type="checkbox"/> |
|----|----|--------------------------|

問9 あなたは、本来どんな政権が望ましいと考えていますか。

今の自民党・公明党・保守党の連立

自民党単独

自民党・民主党の連立

自民党を除く民主党中心の連立

その他 ( )

望ましい政権はない

問10 あなたは、どの政党を支持しますか。

自民党

共産党

民主党

社民党

公明党

保守党

自由党

その他の政党 ( )

～ までの  
方は問 11、12 へ

支持する政党はない

問 12 へ

問11 <問10で ~ とお答えの方に>

あなたは、支持する政党のどんな点を評価し、期待していますか。

次の中から2つ以内で挙げてください。

安定感・頼りがい

党首の魅力

主義主張の一貫性

開かれた党運営

政策の現実性

日本国憲法擁護の姿勢

保守的な姿勢

清潔なイメージ

革新的な姿勢

長期的な視点

中道的な姿勢

その他 ( )

問12 あなたは「支持政党なし(無党派)層」について、どのようにお考えですか。

次の中から2つ以内で挙げてください。

政治を不安定にさせている

政党がもっとがんばれば減っていく

自由に1票を行使している

政治家個人が中心の選挙が背景にある

政治に対して無関心、無責任

棄権が多く投票率を下げる一因

政治に関心の高い人が多い

その他 ( )

政治・政党への不満、不信の現われ

選挙を面白くさせる波乱要素

問13 あなたは、政党が統一や分裂して新しい政党が生まれたり、新しい協力関係をつくったりする「政治・政党の再編成」が今後行われることを期待しますか。

期待する

期待しない

問14 あなたは、国の政治の課題として、次に挙げた項目の中では、どれが最も重要だと思いますか。

教育

景気・雇用

行財政

安全保障

福祉・医療

問15 あなたは、日本の将来を考えると、とくに心配したり、不安に思うことがありますか。次の中から5つ以内で挙げてください。

経済の国際競争力の低下  
 国の安全保障  
 社会保障・福祉の水準低下  
 政治の不安定・不信  
 ふくれる財政赤字  
 進まない行政改革  
 官僚依存型の社会の体質  
 雇用の不安

景気の方行  
 エネルギー不安  
 青少年の教育・育成  
 高齢化と少子化  
 地球環境・自然破壊  
 モラルの低下  
 女性の地位向上の遅れ  
 犯罪の増加

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>

<性別>

男性

女性

<年代>

20代

40代

60代

30代

50代

70代以上

<職業>

農・林・漁業

事務・技術職

(会社、官公庁、団体等の事務、技術職員、銀行員、教員、技師、看護婦、システムエンジニアなど)

現業労働

(運転手、工員、雇用職人、建設作業員など)

サービス業

(商店員、飲食店員など)

役員・管理職・自由業

(開業医、弁護士、会計士などを含む)

商工自営

(店主、飲食店主、町工場主、自営職人、理容・美容店主など)

主婦

無職

その他(具体的に )





<結婚>

既婚

未婚